

坊領集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成21年 6月11日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	大山	組織名	大山坊領農業生産組合
1 地区の範囲 大山町坊領地区			
2 地区の概要			
水田面積	56.13 ha		
主な水田栽培作物	水稻、大豆、そば		
農家数	72戸		
認定農業者数	0経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	0経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。） ・設立時期（規約等の制定日）【平成21年1月18日】			
	組織形態（該当形態に○）	加入農家数	
【現状】前年度実績 （20年度）	○ 未組織 ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型	0戸	
【目標】事業開始翌年度 （22年度）	共同利用型 ○ 作業受託型 ・ 協業経営型	4-5戸	
4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標			
項目	【現状】	【目標】	
集積面積 ①	0 ha	32.88 ha	
うち経営及び作業受託 ②	0 ha	32.88 ha	
対象水田面積 A	0 ha	56.13 ha	
集積率 ①/A	0%	※③	58.59%
うち経営及び作業受託 ②/A	0%	※④	58.59%
注1) ※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。 2) ※④の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

# I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

## 【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

### 1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

当坊領地区は、農家戸数72戸、水田面積56.13haで中山間地に位置している。

個々の耕作面積地も1ha以内の小規模農家が主体で、2ha～4haの中規模専業農家は3戸である。この3戸を含め、他の農業従事者においても60歳以上の高齢者が全体の8割を超しており、中山間地における農業経営の厳しさと高齢化の進行等と相まって、作業の委託を希望する者が年々増加しているのが現状である。

中山間地農業の最大の課題である条件不利等による耕作放棄地の発生を未然に防ぐなど、当地域での現状に対応するため、中山間地域直接支払事業の参加者を中心に、集落の45戸がこのたび新たに、当生産組合を設立して、組合員との請負受託契約での農地の集積及び初摺り、乾燥の受託の拡大などを行っていくこととなった。

当組織を地域における担い手として、今後とも中山間地での農業の在り方や、後継者育成など、山積する課題を解決する母体としていく考えである。

また、集落営農の継続を目指し、現在は個人所有の機械で対応している作業受託も、将来的には組合が機械を所有して集積を図っていく。

### 2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策

水稻の栽培はコシヒカリとひとめぼれの2種類を各農家の実情に応じて作付を行っている。

今後の方向として生産組合が中心となり、農協や普及所のサポートのもとに、当地域に合った品種の普及拡大、移植時期の適正化と分散化、レンゲ・菜の花等による有機素材の活用で特色のある米作りを目指す。

生産調整については、現在はそばを中心とした作付を行っているが、今後とも、そばを継続して作付していくか、また別に地域にあった作目を作付けしていくかを組織として検討していく。

### 3 農業用機械施設の効率利用

当集落で収穫される大山水系(阿弥陀川水系)の米はかねてより美味しいとの評判がある。今回、(財)大山恵みの里公社の仲立ちで販売ルートの確立ができたが、量の確保が課題となった。西部農協と出荷米の地域乾燥・地域初すりについて対応を協議したが、作業条件・作業効率等々の関係で別扱いは無理との回答があり、西部農協への依頼は断念するに至った。

よって、米の差別化(ブランド化)による有利販売で、地域の活性化と後継者育成を目指す当生産組合では、乾燥機・初すり機等の整備が必要不可欠となっている。整備するこれらの機械を効率的に利用し、生産から販売までを当組合が手がけていくことで、さらなる差別化を図っていく考えである。

そこで、現在地区内において個人で対応している乾燥機が効率低下のため廃棄し、新たに組織で乾燥機及び初すり機等を購入し、効率的に利用すること、またそれらを保管する農業用倉庫を整備することにより、この思いを実現させていきたいと考えている。

なお、当地区以外の阿弥陀川水系についても、機械設備の許す限り処理することも検討し、地区外への波及効果も視野に入れている。

また、耕起、田植及び収穫についても、現在は個人所有の機械を利用して受託を行っているが、将来的には、組合で所有し、受託を行うような組織体制の整備を行う。

### 4 経営の多角化の方針・具体策

該当なし。

## II 農業用機械施設の整備方針

### 1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月	本事業による 機械導入に○
乾燥機	28石	1	1,680,000	平成21年9月	○
乾燥機	50石	1	2,655,650	平成21年9月	○
糶すり機等	400AM	1	1,738,400	平成21年9月	○
建物	135㎡	1	12,000,000	平成21年9月	○
電気工事		1	1,283,144	平成21年9月	○

19,357,194